

■ 3年生がまち探検で、マンボを学びました！

昨年度の学校運営協議会委員長の中村年秀さんの案内で、2日(木)に校区のマンボを見学しました。マンボとは、かつて地下に掘ったトンネルで、地下水を導き生活用水や農業用水に利用するための施設です。学校の運動場から消防道路を横切り寺井池の方に延びているマンボは、昭和15年にこの地区の人たちによって作られたと教えていただきました。下の写真は、久間田神社の南側にある下大久保マンボの見学施設です。子どもたちだけの見学は危険ですので、お家の方と一緒にぜひ訪ねてみてください。

案内をしていただいた中村さんをはじめ、見学地の清掃・準備をお世話いただいた地域づくり協議会の役員さん、子どもたちの移動の安全確保をお世話いただいた学校支援ボランティアの皆さん、子どもたちの活動にご協力いただきありがとうございました。



■ 2年生の案内役で、1年生が学校探検をしました！

2日(木)の1・2限目に、1年生と2年生が合同で「学校たんけん」を行いました。2年生はこのグループ活動を通してお姉さん・お兄さんとして下級生をお世話することも学びます。ただし、今年は「3密」を避けるため1・2年生の二人一組で移動しました。

探検する所は、図書室・家庭科室・図工室・英語教室・校長室・職員室・保健室・音楽室・ひまわり学級・体育館・給食調理室・鈴西の森・運動場・うさぎ小屋の14箇所。探検先では一つずつミッションがあり、各部屋で先生の名前を尋ねたり音楽室に置かれている楽器の名前を答えたり、鈴西の森ではドングリや好きな葉っぱを拾ったりしました。



■ 児童集会、はじめて体育館に集まりました！

7月8日(水)に、今年度初めて全校で体育館に集まり、児童集会を行いました。

集会に先立ち、前期児童会役員への認証式を行いました。5人の役員さんが一人ずつ決意や抱負を述べました。その中で、6年生の田中咲季さんが「コロナでいつもと違う学校生活を送っています。それで、体と体の距離が遠くても、心と心の距離が近くなるようにしたいです。」と話してくれたことが、特に印象に残りました。

今年は例年の「1年生を迎える会」をこれまで開くことができませんでした。そのため、この集会で「1年生の紹介」のコーナーを設けてくれました。1年生の子どもたちの名前が一人ひとり呼ばれ、前方のスクリーンに大きな本人の写真とともに好きな食べ物と生き物のイラストも現れ、30名全員の紹介が進みました。インタビュー等の準備をしてくれた6年生や児童会役員の皆さんのおかげで、1年生は大満足そうでした。

最後に坂口先生から「生活の話」を聞く予定でしたが、急遽、2週間ほど前から本校に来ていたペッパー君(感情を認識する人型ロボット)に交代して、身振り手振りを交え「あいさつ」について話をしてくれました。「あいさつ」の「あ」は「明るくあたたかく」、「い」は「いつでも誰にでも」、「さ」は「先に自分から」、「つ」は「続けて次の言葉も」などと話すペッパー君はまるでプログラミングをした坂口先生の分身のようでした。



■ 5年生の、今年の「稲作の学習」は……

例年、農業法人クマダさんやボランティアの方々にお世話になり、社会科の一環として進めていた「稲作の学習」は、5月7日(木)に予定していた「田植え」は臨時休校中のため、また6月に「田の草とり」も学校側に時間的な余裕がなく、今年実施できていませんでした。子どもたちからは「ぼくたちも地下足袋を履いてやりたかった」という声も聞こえてきました。そこで、やっと「稲刈り」を予定している田んぼに出掛けて、今どんどん成長している稲を5年生全員で観察してきました。農業法人クマダさんのお世話で稲は既に60cm程に成長していました。稲の品種は「三重23号」で、このあとしっかりと成長して3つの基準をクリアできれば、「結びの神」というブランド米になります。

学校に戻り、持ち帰った成長した苗を切り取り、幼穂(後に稲穂「実」になる部分)を観察しました。子どもたちは何とか苦労して幼穂を見つけることができました。

当日お世話いただきました地域の皆様、本当にありがとうございました。

